

～ヘルスケアシステムズと三井住友海上火災保険による
郵送検査キットの新たな付加価値～
日本初！！医療機関の診断費用を助成する
未病検査サービスがスタート！

病気になる前の未病段階に特化した郵送検査キットの研究・開発・販売を行う名古屋大学発ベンチャーの株式会社ヘルスケアシステムズ（本社：愛知県名古屋市千種区、代表取締役：瀧本陽介（<https://hc-sys.com/>））は、三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：原典之）と連携し、2019年1月7日より新たな取り組みとして、郵送検査を受けた方が医療機関での検査を求めた場合、受診した医療機関等の費用の一部を助成するサービスをスタートいたします。

費用を助成するサービスの提供にあたっては、三井住友海上火災保険株式会社と連携して新たな保険を開発しました。

■サービスの目的

ヘルスケアシステムズは、名古屋大学発ベンチャーとして、食生活や美容など一般消費者の関心が高く、疾病予防にもつながる郵送検査キットを開発してきました。当社の検査は、病気の診断ではなく、言わば「生活習慣のものさし」であり、誰もが簡単に自分のカラダの状況を知って楽しく健康になれる社会を目指しています。現在、大豆の機能性（エクオール）や活性酸素による酸化ストレス、腸内フローラ、食塩摂取量など、身近な食材や健康テーマに関係する郵送検査サービスを販売しており、過去5年間で約20万人の方々に検査を受けていただきました。

その中で、検査結果を受け取ったお客様から、病気のリスクに関するご相談や受診できる医療機関についてのお問合せを多くいただいています。当社の未病検査は病気を診断するものではありませんが、検査結果をご覧になって自らの健康に気づき、早期受診をいただくことは、生活習慣や加齢に伴う様々な病気の予防と早期発見に貢献できると考えています。

そこで当社は、三井住友海上火災保険株式会社と連携して、医療機関の費用の一部を助成するサービスを2019年1月7日から開始いたします。このサービスは、郵送検査を受けた方を対象に、検査結果に疑問を感じて医療機関を受診した場合、受診した医療機関の費用の一部を助成するものです。

未病検査をきっかけに、多くの方が自分の健康を考え、食生活などの生活習慣改善に役立てていただくのみならず、早期受診や治療の機会を増やすことで、より多くの方がいつまでも健康で生活できる社会づくりに貢献してまいります。

- 対象期間：2019年1月7日～2019年12月31日
(検査結果を当社から発信した日が基準となります)
- 対象者：上記期間内にヘルスケアシステムズで販売している郵送検査キット
エクオール検査『ソイチェック』
腸内環境検査『腸活チェック』
減塩検定検査『シオイチェック』
酸化ストレス検査『サビイチェック』
腸内フローラ郵送検査キット『スリムチェック』『ビフィチェック』
のいずれかの検査を受け、検査結果の調査を目的として医療機関を受診する方。
- 助成内容：上記対象者の医療機関での診断費用（最大5千円）

《会社概要》

■株式会社ヘルスケアシステムズ

代表者：瀧本陽介

資本金：2,000万円

設立：2009年3月

本社：〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8

名古屋医工連携インキュベーター105

東京：〒105-0004 東京都港区新橋 4-6-15 日新建物新橋ビル 7F

業務：郵送検査事業、バイオマーカーや検体検査技術の研究開発
食品などヘルスケア製品の機能性評価と開発支援

URL：<https://hc-sys.com/>
<https://karadacheck.com>

【リリースに関する問い合わせ】

株式会社ヘルスケアシステムズ

広報：高実子(たかじつこ)

TEL：03-6809-2722

e-mail：pr@hc-sys.jp